

MITSUBISHI

三菱換気空清機 **クワンロスナイ**

壁掛2パイプ取付ロスナイ〈排湿用〉

形名

VL-100PUA (湿度センサー付自動運転タイプ)

VL-100PU (引きひも専用タイプ)

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

9806MR871HC1801

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事説明書を必ずお読みください。
- 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- お客さまご自身の工事は、故障や事故の原因になります。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
-----------	----------------------------------	-----------	------------------------------------

- 図記号の意味は次のとおりになっています。

	禁止		分解禁止		風呂・シャワー室での使用禁止		指示に従い必ず行う
--	----	--	------	--	----------------	--	-----------

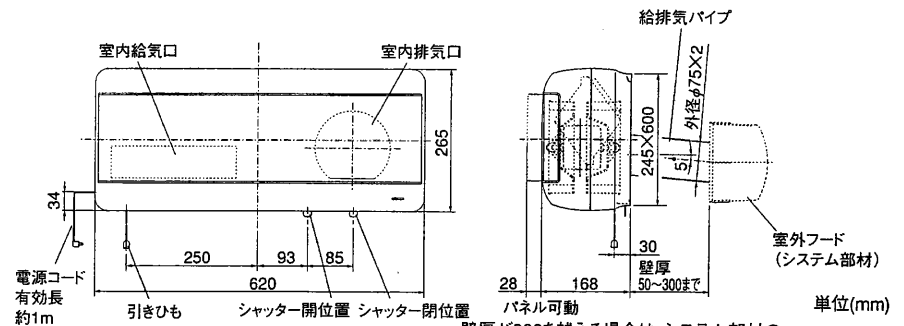
警告	
	●改造や必要以上の分解はしない (火災・感電・けがの原因となります)
	●浴室など湿気の多い所には本体・壁スイッチとも取付けない (感電・漏電の原因になることがあります)
	●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
	●外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ (新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります)
	●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に (落下によりけがをすることがあります)
	●端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する (接続に不備があると火災の恐れがあります)
	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事士)が安全・ 確実に (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

1

注意

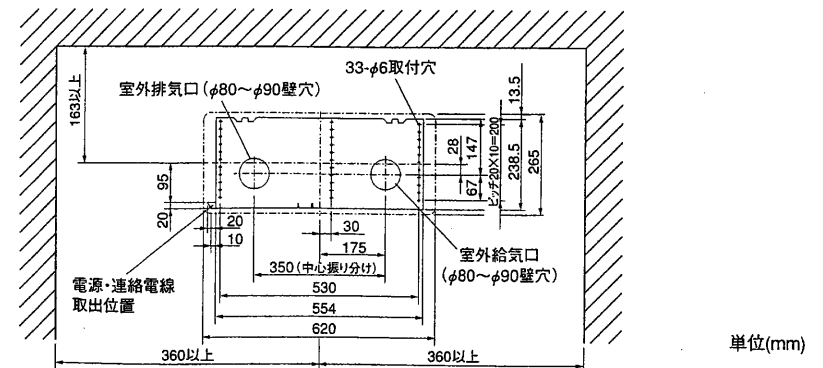
- 壁取付専用のため、天井には取付けない
(落下によりけがをすることがあります)
- 高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない
(火災の恐れがあります)
- 端子カバーは工事後必ず閉める
(ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります)
- 取付けの際は手袋を着用する
(けがをすることがあります)
- 給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付ける
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)
- ドレン排出は、取付工事説明書に従って確実に行う
(水漏れによる感電・火災や家財の破損の恐れがあります)
- 専用のシステム部材の室外フードを取付ける
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)
- 取付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤ブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

外形寸法図



※VL-100PUAには引きひもおよび電源コードは付いていません。壁厚が300を越える場合は、システム部材の「延長用パイプ」・「パイプ延長用継手」を使用してください。

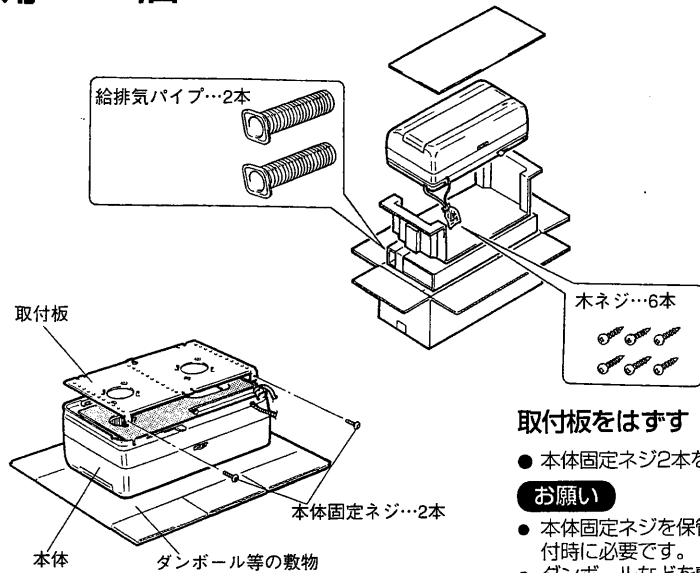
取付位置図



2

取付方法

一 開 梱



取付板をはずす

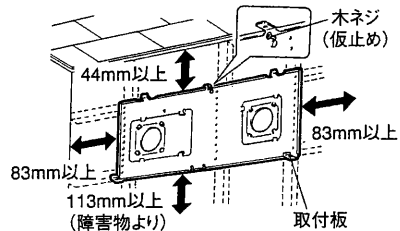
- 本体固定ネジ2本をはずす。

お願い

- 本体固定ネジを保管してください。本体取付時に必要です。
- ダンボールなどを敷いて本体の傷つき防止をしてください。

壁穴工事

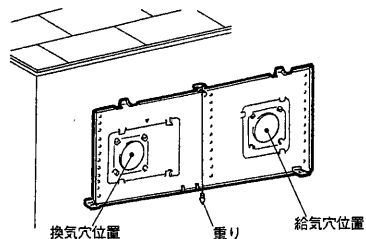
1



取付位置を決める

1. 取付板を壁にあてがう。
2. 補強材 (壁内) が取付板を固定できる位置にあるか確認する。
3. 取付板を仮止めする。(木ネジ1本)

2



壁穴位置を決める

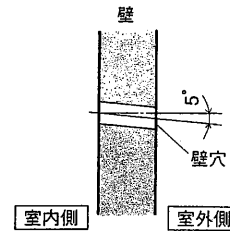
- 壁穴の中心位置に印を付ける。

ⓂⓂ情報

- 重りを吊り下げると取付板の水平が出せません。

3

3



壁穴をあける

1. 取付板をはずす。
2. φ80~90の壁穴をあける。

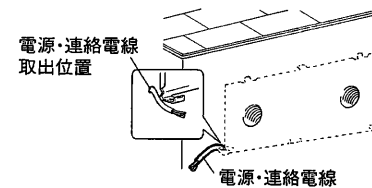
お願い

- 壁穴は室外側に下りこう配となるようにあけてください。ドレン排出・雨水浸入防止のために必要です。

取付け前の準備

VL-100PUAの場合

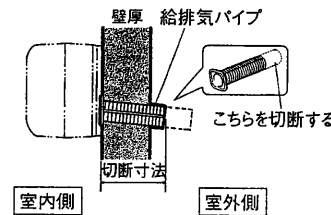
1



電源・連絡電線を引き出す

- 屋内配線の電源・連絡電線を電源・連絡電線取出位置から屋内側へ引き出す。(取付位置図参照)

2

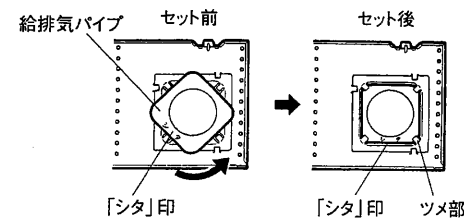


給排気パイプの切断

1. 壁厚を測る。
2. 下表の寸法でパイプを切断する。(室外フードによって切断寸法が異なります)

室外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm
防火ダンパーなし	壁厚+30mm

3



給排気パイプを取付板に固定

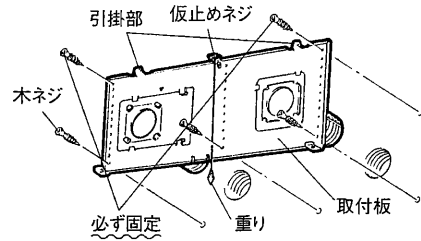
1. 給排気パイプを取付板に差し込む。
2. 左回りに回転させる。
3. フランジを固定する。(ツメ4か所)

⚠注意

- 給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付ける (雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)

4

取付板の取付け

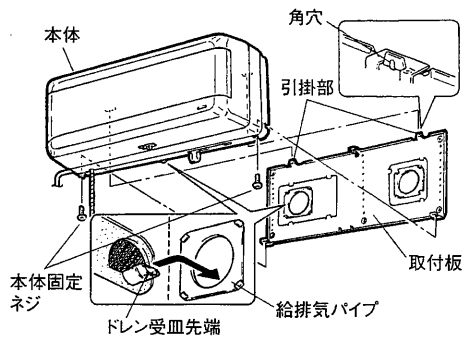


取付板の固定

- 取付板を壁に固定する。(木ネジ5本、仮止めネジ1本)
 - コンクリート壁の場合はコンクリートビスで固定してください。(市販品)
- ☎☎☎情報
- 重りを吊り下げると取付板の水平が出せません。

本体の取付け

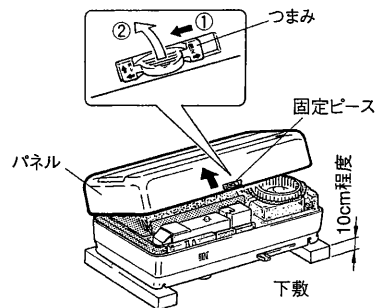
VL-100PUの場合



本体の固定

1. ドレン受皿先端を給排気パイプの中に入れる。
2. 取付板に本体を引っ掛ける。
3. 本体固定ネジ2本で本体を固定する。(本体を壁側に押しつける)

VL-100PUAの場合



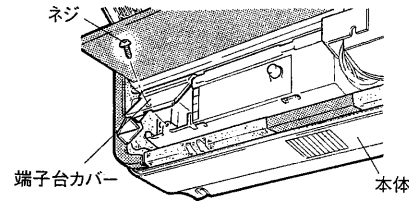
パネルをはずす

1. 固定ピースを左側「外し」の方向へ動かす。
2. 固定ピースのつまみを持ってパネルをはずす。

お願い

- ドレン受皿を保護するために、左図のように下敷を敷いてください。

2



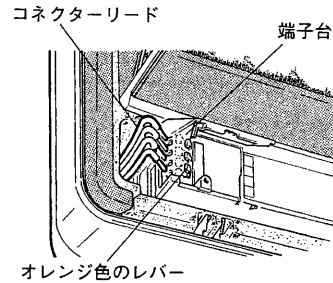
端子台カバーをはずす

- 1本のネジをはずし、端子台カバーを取りはずす。

お願い

- はずした端子台カバー・ネジは無くさないよう保管してください。

3



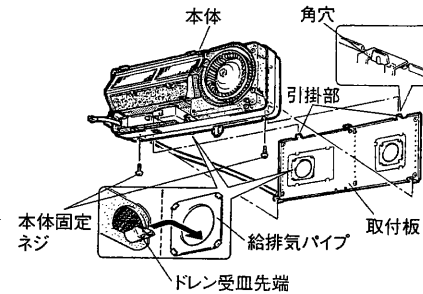
本体検査用のコネクターリードをはずす

1. オレンジ色のレバーをたてる。
2. コネクターリードを引き抜く。

お願い

- 必ずコネクターリードをはずしてください。また、はずしたコネクターリードは使用しないでください。

4



本体の固定

1. 電源・連絡電線を引込口から本体内部に引き込む。
2. ドレン受皿先端を給排気パイプの中に入れる。
3. 取付板に本体を引っ掛ける。
4. 本体固定ネジ2本で本体を固定する。

電気工事 VL-100PUAの場合のみ

警告

- 交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)
- 端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する (接続に不備があると火災の恐れがあります)
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事士)が安全・確実に行う (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

- 運転にはコントロールスイッチが必要です。システム部材のコントロールスイッチを用意してください

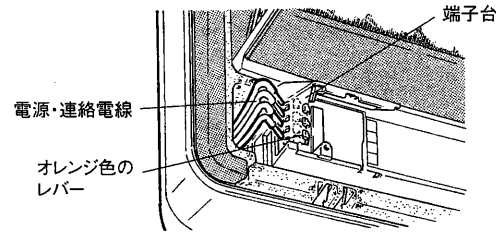
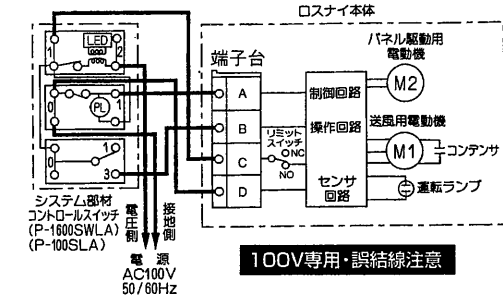
- コントロールスイッチの取付けはコントロールスイッチに同梱の取付工事説明書に従ってください。

5

6

電気工事 つづき

■結線図 ※太線・破線部分の結線をしてください。



結線をする

1. 結線図のとおりに結線をする。
(適用電線VVF単線φ1.6)

お願い

- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチへの結線部分と渡り線が異なり誤結線となる場合があります)
2. 端子台から電線が抜けなことを確認する。

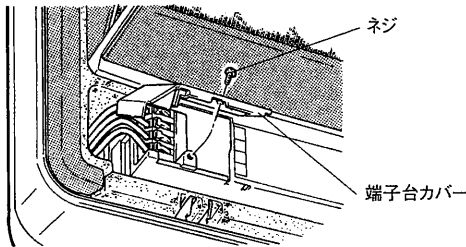
1

2

3

端子台カバーの取付け

- 端子台カバーを元通り取付ける。

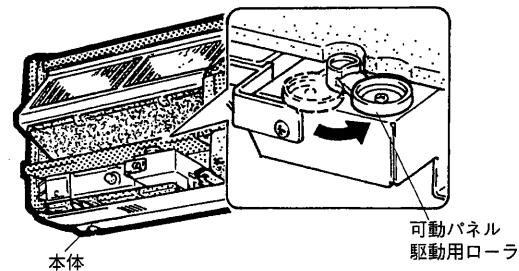


可動パネル駆動用ローラを押し込む

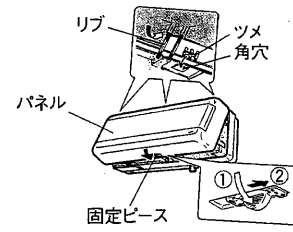
- ローラを押し込む。

お願い

- 可動パネル駆動用ローラーが前に出ている状態で、パネルを取付けないでください。(可動パネルが正常に動作しません)



4



パネルの取付け

1. パネルを本体上側に引っ掛け、下部を押えてはめ込む。
2. 固定ピースを右側「固定」の方向に動かす。

室外側工事

システム部材の室外フードを取付ける。
取付方法は室外フードに付属の取付工事説明書を参照してください。

取付工事後の確認と試運転

取付工事後の確認

- 取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

警告

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店(電気工事事)が安全・確実に行う(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付工事	本体の取付け強度は十分ですか？		
	本体が確実に取付けられていますか？	本体固定ネジを締め直します	
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します	
	コーキングはしましたか？ (室外側：給排気パイプ、室外フード)	コーキングをします (コーキングをしないと雨水が浸入します)	8
	電圧は100Vですか？	100Vに直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
試運転	スイッチの操作と本体動作は合っていますか？	誤結線です 結線図に従って結線を直します (本体は破損しません。[電圧チェック表]で確認します)	7
	羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずしてゴミなどを取り除く (見える範囲のみ)	
	可動パネルが正常に動作しますか？	可動パネル駆動用ローラを押し込みパネルを取付け直します	10 (ページ)

7

8

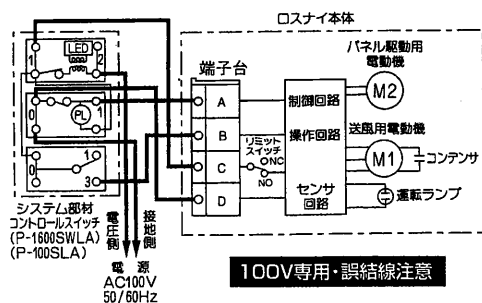
取付工事後の確認 つづき

電圧チェック表 (VL-100PUA)

モード	スイッチ操作	端子間電圧	チェック欄
停止	切 連続 弱	A-B 0	
		A-C 0	
		A-D 0	
		B-C 0	
		B-D 0	
		C-D 0	
連続	入 連続 強	A-B 100	
		A-C 0	
		A-D 100	
		B-C 100	
		B-D 0	
		C-D 100	
自動	入 自動 強	A-B 0	
		A-C 100	
		A-D 0	
		B-C 100	
		B-D 0	
		C-D 100	
自動	入 自動 弱	A-B 100	
		A-C 100	
		A-D 0	
		B-C 0	
		B-D 100	
		C-D 100	

- 測定した電圧が左表の端子間電圧と異なる場合は、誤配線されていると考えられます。通電を停止して、結線図に基づき結線をやり直し、再度チェックをしてください。
※ 端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。

結線図



試運転

■できるかぎりお客さま立合いで、試運転を行ってください。

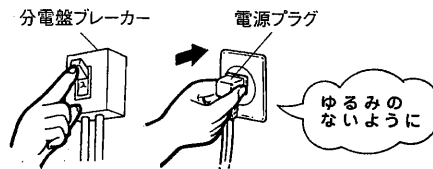
警告

- 交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

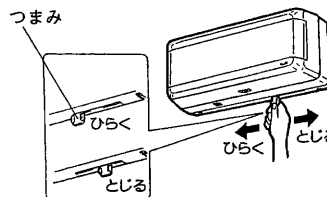
電源を入れる

1. 分電盤ブレーカーを入れる。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。
(VL-100PUの場合)

1



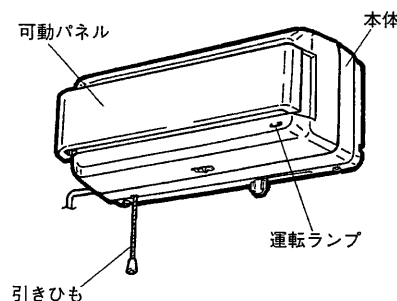
2



シャッターの開閉動作の確認

- つまみを動かして動作するかを確認する。

VL-100PUの場合



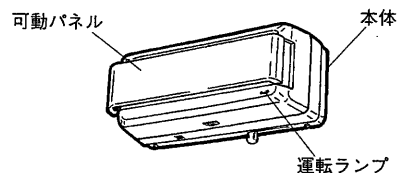
運転状態の確認

1. シャッターを「ひらく」の位置にする。
2. 引きひもで運転操作をする。
3. 引きひも操作に合わせて正常に運転するか確認する。

3

モード	引きひも操作	運転ランプ	可動パネル
強運転		点灯	ひらく
弱運転		点灯	ひらく
停止		消灯	とじる

VL-100PUAの場合



運転状態の確認

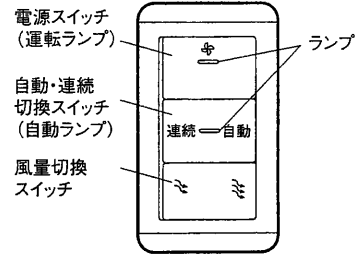
1. シャッターを「ひらく」の位置にする。
2. コントロールスイッチで運転操作をする。
3. スイッチ指示に合わせて正常に運転するか確認する。(11)

9

10

試運転 つづき

コントロールスイッチ (P-1600SWLAの場合)



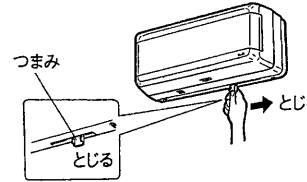
モード	コントロールスイッチ	スイッチのランプ	本体の運転ランプ	本体動作	可動パネル	
連続	強		運転ランプ 点灯 自動ランプ 消灯	点灯	運転	ひらく
	弱		運転ランプ 点灯 自動ランプ 消灯	点灯 または 消灯	* 運転または 停止	* ひらく または とじる
自動	強		* 運転ランプ 点灯 自動ランプ 点灯	消灯	停止	とじる
	弱		運転ランプ 消灯 自動ランプ 消灯	消灯	停止	とじる

* 印はセンサー感度と室内湿度に応じて動作します。

4

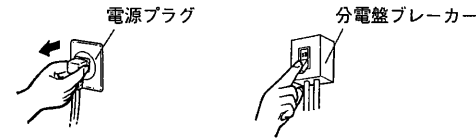
異常な振動・騒音がないか確認する。
● 確認後停止する

5



シャッターを閉じる
● シャッターを「とじる」の位置にする。
(お客さまがお使いになるまで、製品内にほこり等が入らないようにします)

6



電源を切る
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
(引きひも専用タイプ)
2. 分電盤ブレーカーを切る。

お客さまへの説明

- コンセント(壁スイッチ)と分電盤ブレーカーの位置をお客さまへ説明してください。
- チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
- この「取付工事説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客さまへお渡しください。
- お客さまが不在の場合は、発注者(オーナーなど)または、管理人へ説明してください。